

【今回の兼題】
けんだい

- ①小春日 ②狐 ③狸



残菊や妣の指あと押し車
菊純白ゆびにふれたし亡子の命
答弁は狸の次は母狐

酔花

小春や主人失くした古帽子
独り居の縁川ゴンの置きみやげ
冬めきてマラソン人のはずむ息

恵子

文子

○実家には狸の油いつもあり
○時雨るるや賽銭箱の毛沢東
小春日の札所境内赤子泣く

えり

小春日や繕い物を広げけり
この御札お札に変わる義理狐
わきまえと縁起直しの忘れ花

正雄

農子

○縁側の亡母と語りし小春かな
小春日のポリアンサスの苗選ぶ
一瞬の窓から狐温泉宿

志津子

○口遊ぶ「五百マイル」よ秋の暮
庭草を引いて見上げる夕紅葉
イノコヅチついて来るなど言うたのに

初江

○ボーゲンの私を見てる北狐
○椿山莊予約に狸御一行
アンパンチ決める小春のミュージアム

富子

○年重ね狸寝入りも選択肢
小春日に秋明菊や空近く
独り居のゴトゴト炊くや鶏雑炊

丞子

○小春日の何はさておき句会かな
きつねじより
狐日和下校案ずる好好爺
岩田帯さずかりし宮七五三



千代

○襟巻の狐お供に夜行バス
ゲートボール響く小春の河川敷
狸にもなんぞ御利益寺住まひ

瑞枝

○小春空紙飛行機を泳がせて
○秋寂ぶや奈落を覗く芝居小屋
はなしか
嘶家に手打ち膝打ち小六月

紀美

五年越し寒紅さしてクラス会
雨上がり落葉の描くドット柄
小春日の工事現場の紫煙かな

郁子(土)

○蝶を待ち蝶を送りぬ藤袴
たそがれて孤高なるかな木守柿
杖音もそろり行き交ふ小春かな

綾子

どくれもんやないき背を向け小春日に
秋天の城郭日の丸ひるがえり
読みさしを落葉の榊散歩道

味元 昭次 作品



○狐罨解くべし非行少年も
小春日やチェロ弾くように妻を抱き
狸でもいいから息子よもんで来い

狸が通る国道四三九冬の月
狐狸あまた行く永田町十三夜
同級生の禿頭と遭う小六月

★次回市民句会

【開催日時】

令和七年十二月二十四日(水)

午後一時十五分～午後四時(予定)

【場所】

オーテピア4階 研修室

【兼題】
けんだい

①虎落笛
もがりぶえ

②人參
にんじん あるいは 大根
だいこん

(他の題材でも構いません)

【初めての方へ】

市民句会は、俳句愛好者の集いです。
どなたでも自由にご参加いただけます。
事前申込や参加費は不要です。

